

KBI NEWS

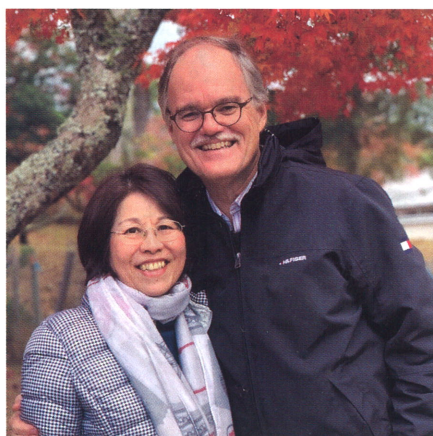
**CROSS
SPIRIT
MISSION**

関西聖書学院

〒630-0266 奈良県生駒市門前町 22-1
TEL:0743-70-8600 FAX:0743-70-8601
編集・発行人：高橋 めぐみ
E-mail：kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp
HP：https://www.kbiwave.com
郵便振替：001140-6-67708
銀行：尼崎信用金庫上ヶ原支店 普通 0015453

新しい宣教師の波 ーインパクト・ジャパンー

ジャパン・ベサニー・ミッション代表
奈良ニューライフキリスト教会・牧師
KBI理事・教師
ジャン・ドウゲン



日本では、十六世紀のザビエルの布教活動や明治時代のプロテスタント宣教師の働きその他、戦後千名を超える宣教師が来日し、全国各地で教会開拓などの働きを展開してきました。その結果、クリスチャンや教会の数が増えました。しかし、経済的豊かさなどの要因により、国民の求道心が鈍り、日本宣教に対して悲観的な宣教師が増えてしまいました。そして、新たに日

本に来る宣教師が減ると共に、引退して帰国する宣教師が増えました。

ところが、近年、日本宣教に重荷を持つ方々の声が世界中から寄せられ、この国に新たな風が吹き始めています。今こそ次世代の宣教師の波が押し寄せつつあり、日本宣教の夜明けであると感じます。

私自身は、四十年間の日本での伝道経験を通して学んだことを次世代に渡す時が来たことに示されました。数年前からKBIの理事会において、インバウンドの宣教師を訓練する必要性について提唱してきましたが、時が満ちて、その思いを共有する先生方が与えられました。それからことが急速に動き始め、志を同じくする方の捧げものにより学院近くの施設が与えられました。この思いが具現化し、準備が本格的に始まりました。

目指すところは、日本の社会に大きな影響を与え、実を結ぶ

伝道ができる人材を育てることです。その思いを込めて、コースの名称を Impact Japan (インパクト・ジャパン) にしました。講師たちはみな、熟練した宣教師と日本人牧師であり、受講生に「日本の文化や宗教」、また「伝道方法や教会形成」に加えて、語学の学びができるコースです。

日本に来て早々、私は先輩宣教師に言われました。「日本は難しい国ではなく、時間のかかる国です」と。

戦後八十年、日本はかつてないほど宗教の自由が保障され、政治的にも経済的にも伝道しやすい国になっています。この時代に神様が新しい宣教師の波を引き起こして下さっていることを確信し、多くの宣教師が豊かに用いられるための訓練に従事したいと願います。

(注) インパクト・ジャパンは、本年十月から十二月にかけて第一回の集中コースを開講予定です。

2025年度3週間コース (2025.4.7-4.26)

見よ、すべてが新しく

礼拝者の心

二年 月城 ヨハネ

長沢崇史先生をお迎えし、「礼拝者の心」というテーマで二日間にわたり講義が行われました。礼拝とは、神の御心に従う生き方そのものです。その模範として、イエス様にナルドの香油を注いだマリアが紹介されました。マリアがイエス様の十字架と埋葬の備えができたのは、いつも主の御元について御声を聞いていたからです。真の礼拝者の心とは、主の御声に敏感に従うことです。

近年の世界・日本情勢は目まぐるしく変化しており、普段の生活においても、忙しさを理由に主の御声を聞くことから遠のいてしまいやすい状況にあります。また、私たちは熱心に神に仕えていると思っても、本来見るべきものを見失いやすい弱い者です。まず、主の前に立ち止まり、主が語っていることは何か、主の御声を聞き、従う者でありたいと思われました。



長沢崇史師

霊的訓練についての学び

三年 若居 佑佳

デイビッド・ワング先生の特講を通して、たくさんの方の学びと気づきがありました。まず、忙しい現代において、立ち止まって祈る必要があることを教えられました。イエス様の十字架の勝利は既にもたらされていますが、日々の生活には戦いがあります。その中で、私たちは今起こっていることを神の視点から見ることをできるように祈る

必要があります。痛みと苦しみの中、答えを見出せない中でも、主が最善を成してくださることを待ち望む必要があることを教えられ、実践していきたいと思いました。

また、神とともに歩むとき、一人になることが時には必要であることも語ってくださいました。エレミヤは主に導かれて一人にされたとき、主と語り合うことに時間を費やしました。私も、主から与えられた使命を全うするために、主と一人向き合い、他者と協働して、献身の道を歩んでいきたいと強く思いました。



デイビッド・ワング師

三週間コースの証し

見よ、すべてが新しく

一年 白浜 かおり

三週間を通して、二つの「新しい」を感じました。一つ目は親との関係です。両親も人間であり、間違ふことや弱さもあること、しかしそれも全て赦され、神様にとびつきり愛されていることに心から納得できました。三週間コース後、母とゆっくり話せたことも感謝でした。

二つ目は、ささげることの意味です。これまでは自分に何ができるかにこだわり、それを用いてもらいたいと思っていました。しかし御言葉を通して、私の内にあるものをささげるのではなく、私自身を神様にゆだねることが必要だと教えられました。ここまで導いてくださった神様に感謝します。



神様は癒やし主

一年 中井 治希

KBIに入る前、私の心には傷があり、神様との関係が崩れた状態でした。その関係を築き直したいと思い、三週間コースに申し込んで入学しました。しかし入学初日に、心の傷が思っていたより深いことに気付きました。

その週、講師の長沢崇史先生が導くワークショップナイトが行われ、その中で三、四人で祈り合う時間がありました。祈っているうちに「人のために祝福を祈れることはなんと感謝なことだろう」という思いが溢れ出て、涙が止まりませんでした。

翌日、自分の中にあつた傷が癒やされていることに気付きました。神様の癒やしと愛に感謝しました。



献身の証し

一年 大田 千尋

私は中学生の時に、弱くて罪深い自分に向けられた、イエス様のすべてを捧げた愛と犠牲を知るたびに、「この人生を捧げる以外に返せるものがない」と思うようになりました。主はいつも私が行きたくない方へ、自分を捨て自分の十字架を負う道へ導かれました。主と共に歩むうちに、人々と主との関係回復と、その人たちの霊的成長を願うようになりました。

一昨年の年末、カンボジアへビジョントリップに行きました。かつて大虐殺があつた「キリングフィールド」という場所が、今では教会が立てられクリストのいのちが流れる「リビンググフィールド」になっているという証を聞きました。一方日本では、年が変わる直前に自死した方がいるというニュースがあつたことをビジョントリップのメンバーから聞きました。日本こそ多くの人が命を絶つことを選んでいく「キリングフィールド」

であると思われ、メンバー全員で日本のために涙を流しながら祈りました。霊的に貧しい国である日本が救われて欲しいと、日本に思いが向けられました。

帰国後、賛美集会で祈っていると、自分が燃えて天にのぼっていく姿が見えました。そして「自分のいのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者はそれを見出すのです。」(マタイ十六章二十五節)という御言葉が与えられました。主に捧げる一步を踏み出すときが来たと信じて、献身を決心しました。



カイロスコースの証し

二年 福田 紗弓

カイロスコースは世界一〇五カ国で学ばれている宣教コースで、KBIでは二〇〇八年から実施されています。このコースでは、聖書にある宣教の根拠、宣教の歴史や戦略的方法、異文化への理解について体系的に学びます。

最初の講義で「宣教のルーツは大宣教命令よりずっと前の創世記にある」ことを知り、私も神様の宣教の計画に加えられていると認識しながら学びを進めました。

このコースを通して、異文化理解は「クリアしなければならぬもの」から「クリアしてみたいもの」へと変わりました。宣教において異文化理解は避けられません。そのため、文化の違いが私の前に立ちただかる大きな壁のように感じていました。別の文化を理解するためには、知見を広げて寛大な心をもたなければならぬと思っています。

しかし今回、宣教における異文化理解が目指すものは「別の文化をもつ人と心が通じ合うこと」であると学びました。自分

とは異なる文化をもつ人と心が通い合う時、そこには私が経験したことのない大きな喜びがあるだろうと想像し、心が踊りました。すべての人間は感情をもつ存在として神様に造られました。そのため文化や言語の違いを超えて感情が合わさる場所に、神様の創造の豊かさが溢れるのだと思います。

これからは、まず目の前にいる人に対して自分の心を開き、積極的に相手の心を受け止めていこうと思いました。



●二〇二五年度 入学生 ● 三週間コース

木村勇太 (さくらコミュニティチャーチ)
高橋実喜人 (湘南グレースチャペル)
中井治希 (守山キリスト福音教会)
RUANBOTING (タスロードチャーチ岡山)
大城美賛 (ヒルズチャーチ)
越智遥菜 (東栄福音キリスト教会)
河西椎菜 ミシェル (富士純福音キリスト教会)
下田智晴 (御影福音教会)
白浜かおり (淀川グレイスビルトチャーチ)
正田愛 (祝園チャペル)
清家明子 (東京ホープチャペル)
多井佳奈美 (ヒルズチャーチ)
西本恵歌 (めぐみなチャペル)
花岡真理愛 (富崎クリスチャンコミュニティ)
林原華奈 (奈良福音教会)
前田柚帆 (東栄福音キリスト教会)
盛吉佑衣 (沖縄リバイバルチャーチ)
本科コース
遠藤実 (エブリネーションチャーチ札幌)
後藤彩門 (アドラムキリスト教会)
仲西涼 (さんだグレイスチャペル)
前原聡 (沖縄611霊糧堂 世界宣教教会)
大田千尋 (堺シオン福音教会)
阪田真由 (ビーワン大阪キリスト教会)
鈴木涼子 (大阪希望教会)
手束実結 (高砂教会)
FOK Yin Hung (香港福音ルーテル教会)
前原久美子 (堺福音教会東京チャペル)
宮内真結 (京都シオンの丘キリスト教会)
山倉あい (金武シオン教会)
横田愛海 (堺福音教会)

CPRC (教会開拓・刷新コース)

正田真也 (祝園チャペル)
正田陽子 (祝園チャペル)
辻井健 (岬福音教会)
西辻耕平 (南大阪福音教会)
西辻恵 (南大阪福音教会)
ベーカー洋子 (東京ホープチャペル)
●二〇二五年度 週末奉仕教会 (母教会は除く) ●

一年生

遠藤実 (和歌山福音教会)
高橋実喜人 (カリスチャペル名張)
前原聡 (敦賀自由キリスト教会)
大城美賛 (カリスチャペル)
河西椎菜 ミシェル
(ビーワン大阪キリスト教会)
白浜かおり (ベテル清水教会)
FOK Yin Hung (淀川グレイスビルトチャーチ)

前原久美子 (岬福音教会)
盛吉佑衣
(インタナショナル・チャーチ大阪神愛福音教会)
山倉あい (COOS Osaka)
横田愛海 (奈良ライフソングチャーチ)

二年生
斎藤詩音 (祝園チャペル)
坂上功 (園田チャペル)
月城ヨハネ (千代田福音教会)
下田とも恵 (鈴鹿キリスト福音教会)
福田紗弓 (グレイス神戸ミッシオンチャーチ)

三年生
名嘉真海成 (箕面福音教会)
花岡愛喜 (武生自由キリスト教会)
山舗岳 (チャペル犬山)
神澤日子 (川西福音教会)
林ハンナ (西宮福音教会)

献金を感謝いたします

献金者ご芳名（敬称略・順不同）（2025.1.21 ～ 2025.5.10）（KBI への直接献金分）

■一般会計献金

個人：安黒務、黄金井尚美、斎藤邦夫、兼松道子、安野清子、石崎政登、高橋めぐみ、加賀清孝、熊谷雄二、秋元清友、井野葉由美、小口雄人、有馬陽介、梅村平太、飯野聖子、大北文広、鵜野英子、梶川光・志帆、中原みね子、笠谷利次、松本亜紀子、菅原威、南澤順子、山崎利見、高橋和子、熊本直美、古川美津子、坂下キク子、在原繁、新川順一・広未、長野英俊・恵理子、匿名希望（4 件）

教会&団体：京都シオンの丘キリスト教会、八尾南福音教会、東栄福音キリスト教会、奈良福音教会、浜松汀キリスト教会、高槻一麦教会、旭川神愛キリスト教会、尾上聖愛教会、鈴鹿キリスト福音教会、狭山福音教会、チャペル犬山、可児福音教会、ベテル清水教会、久留米ベテルキリスト教会、祝園チャペル、千代田福音教会、垂水福音教会、東京チャペル、八尾福音教会、北九州チャペル、(株)ゴスペルユーアイ、金沢独立キリスト教会、ゴスペルチャーチ千里、高砂教会

< 運営支援献金 >

日本福音教会 (JEC)、TPKFイースト、美濃グレースチャーチ、甲府カルバリ純福音教会、岐阜純福音教会、御殿場純福音キリスト教会、伊勢原聖書キリスト教会、

保土ヶ谷純福音教会、KBI 支援協力会 (FCMF 諸教会)、ジャパン・ベサニー・ミッション

< 特別献金 >

1. 建設基金献金

個人：春名裕

教会&団体：秦野クリスチャンセンター

2. その他

個人：奥本耕史、中塚栄、吉田成就、田口佳奈、袴田愛梨、山崎紫音、市木玉江、川崎綾子、柿谷悟、松浦嘉信、川本奏人、ダニエル朴、目黒グレース、長尾浩明、ラッセ&レーナ・ヘイモネン、小山大三、氏名不詳 1 名

教会&団体：八尾福音教会、奈良キリスト教会、上郡福音教会、八木山聖書バプテスト教会

■奨学基金献金

個人：仲村典子、竹川正英、豊村恵悟・みちる

教会&団体：JECレディース委員会、千代田福音教会（教会学校・中高生クラス）、ベテル清水教会

※新設されました「KBI サポーター献金」には、現在 110 名の方がご登録くださいました。皆さまのご支援、心より感謝申し上げます。なお、紙面の都合により個人名・教会名の掲載は省略させていただきますことを、ご了承ください。

KBI 2024 年度会計報告 (2024.4.1 ～ 2025.3.31)

一般会計	(収入)	KBI を支える会献金	4,216,264	(支出)	維持管理費	13,629,224
		支援団体献金	17,667,084		経営費	13,390,469
		特別献金	15,849,922		人件費	27,782,520
		学生維持献金	24,139,116		修繕積立金	10,000,000
		その他	3,939,190		ホームページ制作基金	1,000,000
	前年度繰越金	4,081,622	次年度繰越金	4,090,985		
	収入合計	69,893,198	支出合計	69,893,198		
奨学基金	(収入)	奨学基金献金	2,368,000	(支出)	奨学金支給	790,000
		前年度繰越金	1,601,913		次年度繰越金	3,179,913
		収入合計	3,969,913		支出合計	3,969,913

※その他の基金・積立金については省略いたします。

生駒移転20周年記念集会

「移転20周年～そして、これから～」

2025年 11 月 3 日 (月・祝)



【記念集会プログラム】

10:00～ 記念集会（席上献金あり）

12:20～ フレンズの会 総会

12:40～ 昼食パーティー（沖縄料理、タイ料理、BBQ等）



● O・B・O・G 通信 ●

・梶川 光師（二〇一九年度卒）
 活けるキリスト 大阪一麦教会
 牧師就任

二〇二五年五月十一日

○宣教師派遣式

・石坂 結師（二〇二二年度卒）

二〇二五年七月二十七日

スウェーデン難民移民宣教

○結婚おめでとうございます

・斎藤 友良兄（二〇一八年度卒）と
 小林 野花姉

二〇二五年四月二十六日

● 祈りの課題 ●

・十一月三日のKBI二十周年
 記念集会企画のために。

・KBI会計の必要が備えられる
 ように。KBIサポーターが与
 えられるように。

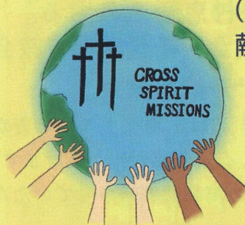
・秋にスタートする国際部（イン
 パクト・ジャパン）の準備のた
 めに。コースのソフト面が進め
 られるように。受講者が集めら
 れるように。

KBIご支援のお願い

目標 300名

KBIサポーター募集中！

クレジットカード決済
 （月額1,000円の自動引落）での
 献金が可能になりました。



詳しくはこちらから

KBIニュース
メール配信の
お知らせ

2024年10月より郵便料金が
 改定されたことを受けて、
 第122号よりKBIニュースの
 メール配信を開始しておりま
 す。ご協力いただける方は
 以下のQRコードより
 ご連絡ください。



2025年度 新入生集合写真

入学式に説教者としてお迎えした
 ラッセ・ヘイモネン師（右）

